

2022.5.19(木)



楽しむのも本気！ 楽しませるのも本気！ ぜんぶ本気の「ときなんチャレンジ」

発行所
常磐南小学校
電話 46-2005
FAX 46-2048
— 第24号 —
2022.5.31



昭和60年に初版発行され、以来、9刷発行まで数を伸ばした1冊の本『肩車について』毛涯章平 著 *第一法規出版
私が教員になったところ、先輩教師から紹介された本で、今も大切にしている。毛涯氏は長野県で小中学校の教員、校長、教育委員長を歴任し、文部大臣から教育功労者表彰を受けている。

毛涯氏の子どもをとらえる目は温かく、やさしい。そして、教師に向けて記した「わが教師十戒」は、今

2022.5.31
ぜんぶ本気
*授業も本気、遊びも本気、ぜんぶ本気
校長 都筑 祐一

読み返しても背筋が伸びる。

こんな一戒がある。

『暇をつくらず、子どもと遊んでやれ。そこに本当の子どもが見えてくる』

本校も、長放課や昼放課に運動場で子どもたちと遊ぶ教職員がいる。そこでは、教室とは違った意外な一面を見ることも多く、思わず「ハッ」とすることもあつた。

子どもたちにとつて遊びは、人と人との関わり方を学ぶ貴重な体験の場となつていく。

去る5月19日、「ときなんチャレンジ」と銘打つて、子どもたちが本気になつて遊ぶ1日を設けた。企画から運営までの一切を、子どもたちに委ねたビッグイベントだ。

楽しむのも本気。楽しませるのも本気。「ぜんぶ本気!」。そしてこの日の目標は、「全員が心から楽しい」と感じるこつと。

- 1年…玉入れ
 - 2年…ペットボトルボウリング
 - 3年…ストラックアウト、三輪車レース
 - 4年…輪投げ、グラントゴルフ、生き残りドッジ
 - 5年…魚釣り、段ボールレース
 - 6年…水鉄砲、ムーンカート
- 「みんなが楽しいと感じてくれるために、何をどれだけ準備して、どんなルールを作ればいいのか。係りの仕事として何が必要で、誰が何をやるのか」

子どもたちの真剣な話し合いが、それぞれの学級で何度も行われた。そして、遊びも運営も、ぜんぶ本気のときなんチャレンジが実現し、見事に目標を達成した。

改めて感じたことがある。それは、子どもたちには「豊かな創造力と確かな行動力」があるという点だ。大人たちの心配をよそに、難なくやつてのける姿。毛涯氏が謳つた「本当の子ども」とは、もしかすると、このことなのかもしれない。
あつぱれ!ときなんの子どもたち。

